

平成28年度教育に関する点検・評価の概要

1. 点検・評価の基本的な考え方

趣旨

○目的 効果的な教育行政の推進をはかるとともに、市民への説明責任を果たす
○根拠 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条

対象

○平成27年度に実施した取組みを対象
○教育委員会の取組みに加え、関係部課等の取組みも点検・評価

方法

○帯広市教育基本計画の「個別目標」「基本方向」ごとに実施
○取組みの成果と、課題・今後の方向性の2つの観点から点検・評価

学識経験者の知見の活用

○学識経験者から意見・助言をいただき、点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取組みに向けて活用をはかる

2. 点検・評価の結果

次代を担う人づくり

知識・技能の習得

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
子どもの学力・学習意欲を高める教育の推進	○基礎学力の定着に向けた少人数指導や家庭学習の取組みにより、標準学力検査の目標基準到達観点数が増加し、目標値を達成	○より実効性のある教材や資料を提供し、学校・家庭・地域が一体となって学習・生活習慣の改善を継続する
個人や社会のニーズに応じた学習活動の推進	○受講環境を改善し、各施設において特色を生かした多彩な内容による講座を開催	○多様化する学習ニーズや社会情勢を的確に捉え、魅力ある講座等の企画運営に取り組む
職業に関する教育・学習活動の推進	○帯広南商業高校において、進路指導等により、就職率100%を達成し、検定の3種目以上1級取得率も目標値を達成	○帯広南商業高校において、引き続き社会性と教養を身に付けた社会に貢献できる人材の育成に努める
高度情報化に対応した教育・学習活動の推進	○「クラウド型サーバースystem」の導入により、各小中学校で教育研究所作成の教材等を指導に生かし、効果的に運用するための環境を整備	○「クラウド型サーバースystem」をより活用しやすいよう、教育効果の高い教材等の作成に取り組む

豊かな心の育成

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
子どもの社会性の育成	○小中学校、帯広南商業高校で、児童生徒の悩み等にきめ細かい相談体制をとり、いじめ・非行防止5つの誓いを印字したクリアファイルの配布によりいじめ・非行防止の啓発を実施	○不登校児童生徒の復帰に向けて、教育相談員の専門性の向上を図り、適応指導教室での指導を継続し、個別的教育相談体制の強化や保護者への相談体制の充実にも努める ○子どもの居場所づくりでは、イベントにおいて事業への理解とボランティア参加の呼びかけを進める
豊かな情操の育成と生きがいづくり	○学校図書ボランティアが行う読み聞かせや朝読書等の取組みにより、1人当たりの貸出冊数は目標値を達成 ○良質な芸術・文化の鑑賞機会を提供し、身近に芸術・文化に親しめる環境づくりを実施	○学校図書の蔵書整備を進め、運営に係る担い手の確保・専門性向上を図り、学校図書の活用促進に努める ○芸術・文化情報が幅広く市民に届くよう、各メディアやコミュニティ等を通じ情報発信し、芸術に触れる機会を提供する

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H27実績値 H27目標値	H31目標値
標準学力検査の目標基準到達観点数（観点）	26	38 38	42
帯広市教育委員会が開催する講座等の参加者数（人）	22,590	37,542 23,000	23,000
帯広南商業高等学校の就職率（％）	100.0	100.0 100.0	100.0
帯広南商業高等学校における検定の3種目以上1級取得率（％）	46.7	73.5 61.0	75.0



市民大学講座
（「帯広・十勝歴史講座」の様子）



帯広南商業高校での就職指導
（模擬面接の様子）

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H27実績値 H27目標値	H31目標値
不登校生徒の復帰率（％）	30.8	34.4 55.0	65.0
子どもの居場所づくり参加児童数（人）	7,575	22,834 28,800	31,100
小学校図書館の児童1人当たり貸出冊数（冊）	9.1	16.2 10.7	11.8
中学校図書館の生徒1人当たり貸出冊数（冊）	1.6	3.7 2.0	2.4
鑑賞事業の入場者数（人）	34,098	24,706 38,000	38,000



教育相談体制の充実
（相談員の定例会議の様子）



「学校図書館担当者スキルアップ研修会」（研修会の様子）

健やかな体づくり

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
健やかな体を育むスポーツ活動等の推進	○スケート大会等の各種スポーツ大会の開催数の増加、スポーツ教室等の実施 ○児童のむし歯予防を目的としたフッ化物洗口の検証を実施	○スポーツ少年団の情報を、学校等を通じて各家庭に提供し、登録数の増加を図る ○総合型地域スポーツクラブは、情報交換や体制づくりを進める ○フッ化物洗口の取組みについて今後のあり方を検討する
食育の推進と学校給食の充実	○食育レシピ集やリーフレットの児童生徒への配布、食育指導専門員の増員により、食育を推進 ○新学校給食センターの稼動により、野菜を使用したメニューが1品増加	○「早寝早起き朝ごはん」運動を推進し、啓発資料の作成・講演会の開催、給食指導や食育出前授業の実施により、食に関する指導の一層の充実を図る ○関係部署と連携し、学校給食の地場産野菜の導入拡大に取り組む

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H27実績値 H27目標値	H31目標値
スポーツ大会、スポーツ教室・講習会の参加者数（人）	35,677	96,705 87,000	87,000
総合型地域スポーツクラブの設置数（か所）	2	5 6	8
学校給食における地場産野菜の導入率（％）	55.7	53.7 68.5	70.0



明治北海道十勝オーバルのスケート大会
（元気に滑走する選手たち）



新学校給食センター
（平成27年4月稼動）

人間を尊重し自然と共生する人づくり

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
人権・福祉・男女共同参画に関する教育・学習活動の推進	○ユニバーサルデザインに関する講座を関係部署と連携し、多様な参加機会を提供 ○男女共同参画に関する講座の開催、情報誌の発行により、意識啓発等を実施	○若い世代に、ユニバーサルデザインを周知する機会の拡大を検討し、意識啓発に努める ○社会慣行の解消のため、男女平等意識の定着・浸透を図る
グローバル化に対応した教育・学習活動の推進	○森の交流館・十勝を活動拠点に、市民が外国人と交流できる国際理解推進事業・国際交流事業を実施 ○外国語指導講師を全小中学校へ派遣し、外国語活動の指導を充実 ○帯広南商業高校に英語指導助手を配置し、国際理解を推進	○エリア・ファミリーを考慮して外国語活動の指導を行い、児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力の向上を図る ○長期休業中に小学生を対象にして行う「Obihiroサマーイングリッシュ」等を引き続き開催し、外国語への興味・関心を高める
環境に関する教育・学習活動の推進	○環境にやさしい活動実践校の取組みは、制度の意義や効果への学校の理解が進んだことから、認定校が4校増となり、目標値を達成	○環境教育プログラム集を充実し、学校や社会教育施設等が連携した環境教育を引き続き推進する

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H27実績値 H27目標値	H31目標値
UDに関する講座等への参加者数（人）	234 (H17-19平均)	294 284	370
国際理解推進事業・国際交流事業の参加者数（人）	8,465 (H17-19平均)	9,732 9,010	9,350
環境にやさしい活動実践校数（校）	10	32 32	41



外国語指導講師の派遣
（小学校での活動の様子）



環境にやさしい活動実践校
（小学校での美化活動の様子）

ともに学びずなを育む地域づくり

ふるさとの理解の促進

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
子どものふるさと教育の推進	○児童生徒が郷土を愛する心を育む「郷土体験学習」等を推進 ○百年記念館出前講座により、ふるさとの自然を学ぶ機会を提供	○小中学校で行っている体験活動等のプログラムの見直しなどを検討する ○百年記念館で、教材更新等に取組む
地域に関する学習活動の推進	○地域の問題・生活課題など地域に根ざした特色あるコミュニティ講座等を開催 ○アイヌ民族文化情報センター（リウカ）の運営や文化展の開催等により、市民のアイヌ民族の歴史・文化に関する理解を深める取組みを実施	○市民大学講座、百年記念館博物館講座や図書館の郷土資料展示などにより、地域理解を深める機会を提供する ○新規受講者を呼び込むため、学習活動の効果的な周知に取り組む ○アイヌ民族の歴史や文化の学習機会を拡大し、理解促進を図る

きずなづくり・まちづくり

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
まちづくりへの参画を促進する教育・学習活動の推進	○青少年リーダー養成事業のプログラムの工夫や参加の呼びかけにより参加者数は目標値を達成 ○図書館や百年記念館等でのボランティア養成講座の受講者が、習得した知識・技術を生かした活動が定着	○青少年育成団体の担い手の育成・発掘のため、活動内容を積極的に周知し、学校等の協力を得ながら人材確保に努める ○社会教育施設において、知識・技術の向上・継承を図り、活動の場を今後も提供する
にぎわいや交流を促進する文化・スポーツの振興	○発表・活動への場の参加団体数は、実行委員会との連携により、広く参加を促したことで、目標値を達成 ○各種スポーツ大会の観客数は、全国・全道規模の大会の継続開催により目標値を達成 ○各種スポーツ団体等の合宿の受入れを、地域を挙げて取り組んだことで目標値を達成	○芸術文化に関わる活動団体の活動の継続・活性化のため、文化団体等が情報交換する機会の提供を検討する

基本目標を実現するための基盤づくり

学校・家庭・地域の連携

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
開かれた学校づくり	○全小中学校で学校評議員を委嘱。学校運営協議会の研修会で指導主事が情報提供 ○スポーツ・文化活動のために、学校施設を開放	○学校評議員研修会等の内容を充実させ、各小中学校の評議員の情報交換の機会を設ける
家庭教育への支援	○子育て支援センターで、子育て講座の開催回数が増加 ○家庭教育学級により家庭の教育力を向上 ○動物園や百年記念館で、親子での学習機会を提供	○関係機関と連携しながら子育てに不安や孤立感を抱く、子育て家庭を支える
家庭や地域による教育支援の推進	○子どもを地域ぐるみで応援する取組みを進め、学校支援ボランティアを全小中学校で活用	○学校支援地域本部のボランティア等の人材確保や、各種団体と活動の情報交流を行い、活動内容の充実に努める

<成果指標の状況>

指 標 名	H19基準値	H27実績値 H27目標値	H31目標値
地域について学ぶ講座等への参加者数（人）	4,053	5,355 4,000	4,000



郷土体験学習
（くりりんセンター見学の様子）



野生動物の出前講座
（「エゾリスのくらし」の様子）

<成果指標の状況>

指 標 名	H19基準値	H27実績値 H27目標値	H31目標値
青少年リーダー養成事業参加者数（人）	208	338 240	260
学習成果の活用事例数（件）	1 (H20)	9 6	10
発表・活動の場への参加団体数（団体）	56	91 61	65
各種スポーツ大会の観客数（万人）	16.0	20.9 20.8	20.8
スポーツ合宿団体数（団体）	150 (H20)	222 200	200



図書館ボランティア養成講座
（「語り手育成講習会」の様子）



スポーツ大会・合宿の誘致
（プロスポーツチーム帯広合宿）

<成果指標の状況>

指 標 名	H19基準値	H27実績値 H27目標値	H31目標値
子ども1人当たりの子育て支援センター等の利用回数（回）	10.2	15.9 11.4	12.0
子育てメール通信の利用率（％）	23.8 (H20)	41.4 46.8	60.0
学校支援ボランティアを活用した学校数（校）	2	40 24	40



子育て支援センターの講座
（「わらべうた講座」の様子）



こども学校応援地域基金プロジェクト
（ボランティア同士のつながりを深める「こども応援！みらいカフェ」の様子）

教育を支える人材の育成

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
教員の人間力・指導力の向上	○教育研究所による研修講座内容の充実、研修機会の周知徹底を実施 ○学校指導訪問等において、学校力と教師の指導力が向上するよう指導・助言を実施	○教員の資質の向上のため、ミドルリーダーの育成に取り組むなど、教員の指導力の向上に努める
地域の人材の発掘・育成・活用	○学習指導者登録制度において、市民の学習活動を支援 ○新たに活動開始した団体等に、ホームページで芸術・文化活動を紹介するよう積極的な働きかけを実施	○地域の指導者の登録者の高齢化や固定化を解消するため、講座等の実施や周知方法の改善により、人材発掘と活用を図る

教育環境の充実

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
学校教育の環境整備	○小中学校校舎の非構造部材の耐震化として屋内プール天井の落下防止対策工事を実施 ○校務用パソコンの更新・増設を実施	○学校施設の長寿命化計画策定に向け必要な調査を実施し、建物の延命化を図る ○校務用パソコンの安定的な運用を確保する
社会教育の環境整備	○図書館での企画展示・講演会、動物園でのブリーディングローンの活用、百年記念館の展示室のLED化・展示物の更新、市民文化ホールの非常放送アンプの更新等を実施 ○新たな総合体育館建設実施方針を策定	○図書館での市民1人当たりの図書等の貸出点数を増やすため、PRや講座・講演会により利用拡大に努める ○社会教育施設の機能を維持できるよう、施設状況を適切に把握し、設備・備品の修繕と更新を継続する
保育・体験活動の環境整備	○児童会館では、科学・文化関連事業の開催を継続	○「帯広市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育所や児童保育センターの整備を進める

教育機会の確保

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
就学・進学の支援	○農村地域の遠距離通学の児童生徒に対し、スクールバスを運行 ○就学援助費の支給 ○進学機会の確保のため授業料補助や貸付等を実施	○スクールバスの更新を進める ○家庭の経済的負担を軽減するため就学援助費等の支給等を継続する ○高校の間口を維持確保するため、情報収集や要望活動を継続する
健やかな発達の支援	○特別な支援を必要とする子どものニーズを把握しつつ、保護者や専門家等の意見等を総合的に勘案し、知的学級等を新設 ○特別支援教育補助員等の継続配置により、特別支援教育を充実	○個別的教育的ニーズに対し、適切な支援や必要な教育を行うため、合理的配慮に基づき多様で柔軟な仕組みや環境の整備を進める

よりよい教育のためのしくみづくり

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
魅力ある学校づくりの推進	○「こども学校応援地域基金プロジェクト」へのつながりを意識し、地域と連携した取組みを全小中学校で実施	○これまでのノウハウや取組みを生かしながら、地域との連携や将来を見据えた事業として進める
学校教育のしくみの改善	○「帯広市エリア・ファミリー構想」により、相互連携を図るエリア会議を開催し、挨拶運動等を開催 ○「おびひろっ子」を育む9年教育プログラム」のリーフレット配布による市民周知を実施	○「帯広市エリア・ファミリー構想」の考え方を広く浸透させ、幼保・小・中の学校種間の連携を一層強化し、9年間のつながりを大切にした教育プログラムの推進を図る
社会教育施設の利用の促進	○とかちプラザや明治北海道十勝オーバルをはじめとする社会教育施設及びスポーツ施設が堅調に利用者数を伸ばし、目標値を達成	○文化施設の利用促進のために、各メディアや各コミュニティを通じて、幅広く芸術・文化情報の発信していく
地域の実情に応じた教育行政の推進	○教育懇談会を開催し、市民と教育に関して意見交換を実施	○より幅広い市民が参加できるよう、会場の変更など開催方法の工夫・改善を検討する

<成果指標の状況>

指 標 名	H19基準値	H27実績値 H27目標値	H31目標値
教職員1人当たりの研修受講回数（回）	2.2	3.3 2.7	3.0
地域の指導者の登録者数（人）	138	126 170	190
ホームページで芸術・文化活動を紹介する文化団体数（団体）	260	273 268	272



教育研究所の研修講座
（「体育授業実践講座」の様子）



帯広市民オペラ「こうもり」の公演

<成果指標の状況>

指 標 名	H19基準値	H27実績値 H27目標値	H31目標値
小・中学校校舎の耐震化率（％）	46.5	100.0 79.1	100.0
市民1人当たりの図書等の貸出点数（点）	5.4	5.8 6.4	7.0
児童会館の入館者数（万人） (H17-19平均)	10.9	14.4 11.7	12.0



校務用パソコンの更新・増設
（新しい校務用パソコン）



ブリーディングローンによる
展示動物の充実（マンドリル）

<成果指標の状況>

指 標 名	H19基準値	H27実績値 H27目標値	H31目標値
特別支援学級の設置数（学級）	38	77 59	59



特別支援教育の充実
（特別支援学級での支援の様子）

<成果指標の状況>

指 標 名	H19基準値	H27実績値 H27目標値	H31目標値
社会教育施設の総利用者数（万人）	95.2	108.0 95.2	95.2
文化施設の利用者数（万人）	54.8	52.0 60.0	60.0
スポーツ施設の利用者数（万人）	114.8	137.0 128.6	128.6



おびひろっ子9年教育プログラム
（PRリーフレット）



四館連携事業
「よりどりみどりがおかフェスタ！」の様子